



# 四季の詩

## 春の詩

春

てふてふが一匹(ツ)韃(ツ)鞆(ツ)海峽(キヨウ)を渡つて行つた。

## 夏の詩

耳

私の耳は貝のから  
海の響ひびきをなつかしむ

### 目標

- 比喩や反復などの表現の技法を理解して使う。
- 表現の効果について、根拠こんぎよを明確にして考える。

### 安西冬衛

一八九八—一九六五

奈良県に生まれた。詩人・公務員。詩集に『軍艦茉莉』、『座せる闘牛士』などがある。

『出典』『安西冬衛全集 第一巻』によつた。

### 韃鞆海峽

樺太はらた(サハリン)とシベリア東岸との間にある海峡。

### ジャン・コクトー

一八八九—一九六三

フランスの詩人。詩集に『ポエジー』、小説に『恐るべき子供たち』などがある。

### 堀口大學

一八九二—一九八一

東京都に生まれた。詩人・歌人・翻訳家。

### ジャン・コクトー

ほりぐち だいがく  
堀口 大學 訳

あんざい ふゆえ  
安西 冬衛

秋の詩

虫

虫がないてる

いま ないておかなければ

もう駄目だだめというふうにないてる

しぜんと

なみだ  
涙をさそわれる

冬の詩

雪

太郎を眠らせ、太郎の屋根に雪ふりつむ。

次郎を眠らせ、次郎の屋根に雪ふりつむ。

千  
みちしるべ

1 それぞれの詩の題材を捉え、どのようなことが想像さ

れるか、話し合おう。

2 それぞれの詩の表現の技法や工夫に着目し、どのよう

やぎ  
八木 重吉

八木重吉

一八九八—一九二七

東京都に生まれた。詩人。詩集に『秋の瞳』『貧しき信徒』がある。

『出典』『定本八木重吉詩集』によった。一部、現存の直筆原稿に基づいて表記を改めた。

三好達治

一九〇〇—一九六四

大阪府に生まれた。詩人。詩集に『測量船』『艸千里』『駱駝の瘤にまたがつて』などがある。

『出典』『三好達治詩全集』によった。

3 な効果をあげているか、考えよう。

4 四つの詩から一つを選んで、自分のもつ季節のイメージとどのように重なるか、説明しよう。



詩の創作

高見順たかみじゅんという詩人に次のような作品があります。

ぶどう  
葡萄に種子があるように 高見 順

葡萄に種子があるように

私の胸に悲しみがある

青い葡萄が

酒になるように

私の胸の悲しみよ

喜びになれ

この詩をヒントに、次のような詩が生まれました。

桃かたのなかに硬い種があるように 生徒作品

桃のなかに硬い種があるように

私のなかには頑固な心がある

種から出た芽が

緑色のやわらかな二葉になるように

私のなかの頑固な心よ

すなわ  
素直でやさしい心になれ

この詩は、元の詩から次のような形を取り出して創作されています。

に  があるように

私のなかには  がある

が

になるように

私のなかの  よ

になれ

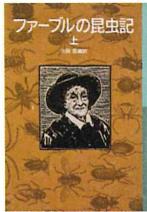
には自分のなかにある、変えてみたい何か（例えば、気持ちや性格など）が入ります。皆さんも、「 よ、 になれ」と思う言葉を探してみましよう。

そのうえで、「……ように」にぴったり合う比喩を考えて、詩を創作してみましよう。



# 広がる本の世界 9

学びを深める読書案内



ファブルの昆虫記 (上)  
ファブル

昆虫学者が、生涯をかけて書いた昆虫の観察記録と思い出。



最後のひと葉  
オー＝ヘンリー

病弱な友を「生きたい」と思わせるには。表題作含む14編。



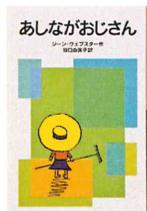
モモ  
ミヒヤエル＝エンデ

時間どろぼうと少女モモの物語。「時間」について考えさせられる。



星の王子さま  
サン＝テグジュベリ

砂漠に不時着した飛行士は、清純な心の星の王子さまに出会う。



あしながおじさん  
ジーン＝ウェブスター

「あしながおじさん」の援助でジュディは大学へ進学する。



赤毛のアン  
モンゴメリ

孤児院から老いた兄妹のもとに引き取られたアン、成長の物語。



影との戦い ゲド戦記 1  
アーシュラ＝K＝ル＝グウィン

魔法世界アースシーを舞台に、少年ゲドの冒険を描く。



方言学入門  
木部暢子 ほか 編著

地図や社会の変化から見える言葉の地域差、方言を楽しく学べる。



リトル・トリー  
フォレスト＝カーター

少年トリーは、美しい自然と祖父の愛に育まれる。



物語とふしぎ  
河合隼雄

古今東西の児童文学の名作が伝える「ふしぎ」の感動。